



【読書】キャラクター「おっほん」

札幌市立真駒内公園小学校

読書活動の取組

読書センターとしての機能

朝の10分間読書

週に1～3回、朝の会の前の10分間、全校で読書をする取り組みを続けています。決められた時間静かに読書をすることで心を落ち着けて一日を始められたり、自然とお互いに読んでいる本について情報交換が成されたりするなどのよさがあります。朝に読む本を選ぶために、図書室を利用する児童の姿も多く見られます。

ブックセンター委員会の活動

ブックセンター委員会では、全校の皆が快適に図書室を利用できるよう、貸出・返却業務や本の整理を行う他、もっと図書室に親んでもらえるような企画を考えています。今年度は、委員がクラスごとにおすすめ本を選び、届ける「本の宅急便」や、読書の啓発やマナーについて伝えるポスターを作成しました。4月～12月は5,6年生が、1月からは4,5年生が委員会活動に携わります。

まこえん図書だより

季節に合った本をおすすめするポスターを掲示しています。人気の本はもちろん、図書室にある、あまり手に取られていない本を扱うことで、新しい本と出合うきっかけ作りをねらっています。

学習センターとしての機能

～主に国語科での活用

- 1年生「じどうしゃくらべ」では、色々な乗り物について、図書室の本を活用して調べました。
- 2年生は、生活科でカエルの育て方について図書室の本を活用して調べました。
- 3年生は、好きな本の紹介文を書くほか、生き物やことわざ、食べ物の変化などについて、図書室の本を活用して調べました。
- 4年生「本のポップや帯を作ろう」では、本を図書室から選んだり、作る際の参考にしたりしました。
- 6年生「私と本」で、ブックトークに使用する本を探したり、漢字辞典を活用したりしました。
- 特別支援学級では、俳句についての本を活用し、有名な俳句について学習したり、著名な俳句を参考に俳句作りをしたりしました。

情報センターとしての機能

- 5年生「図書館を使いこなそう」の取組や、全校朝会の、「図書についての話」で、図書室の本の分類表（日本十進分類表）の見方や本の置き場所、本の探し方について扱い、資料を自分で探す力を付けることを目指しました。

